Japanese Beauty Hokuriku

日本の美は、北陸にあり。

Japanese Beauty Hokuriku

JR西日本は、JR東日本とJR東海と北陸3県（富山県、石川県、福井県）などでつくる北陸三県誘客促進連携協議会と共同で2017年12月1日から2018年3月31日まで恒例の「Japanese Beauty Hokurikuキャンペーン」を展開している。メーンテーマは「Japanese Beauty Hokuriku ～日本の美は、北陸にあり。～」「美食」「美観」「美技」「美湯」「美心」の5つの「美」。今回の同キャンペーンでは「美食」企画が充実。北陸新幹線金沢開業以降首都圏に向けて、北陸の冬の味覚であるズワイガニや寒ブリの魅力の情報発信を強化。握りずしや海鮮丼は特に人気を集めている。とくに、橋立漁港での加能（かのう）ガニの「カニガイド&限定利き酒セット」、東尋坊での「越前がにの釜揚げ見学」など「カニ」企画が注目となっている。駅から観光地へのアクセスでは、富山県の井波彫刻バスや、福井県の「あわら温泉・永平寺・丸岡城直行バス」、春夏秋冬周遊バスが初設定された。

越前がにの釜揚げ見学

橋立漁港　カニガイド

寒ブリ解体

富山県

ひみ番屋街　寒ぶり解体見学

「氷見の寒ブリ」で知られる海辺の街、氷見市。中でも富山湾越しにそびえる立山連峰と、氷見市沖に浮かぶ唐島（からしま）を一望できる海岸沿いのこの上ないロケーションに「氷見漁港場外市場 ひみ番屋街」と「氷見温泉郷 総湯」はオープンした。

ひみ番屋街では、2018年2月までの毎週日曜日に寒ブリ解体と即売が行われる。時間は12時から。場所は、鮮魚コーナーひみ水産。

氷見三昧御膳

井波彫刻バス

2017年10月1日から2018年3月25日までの土日祝日に富山県南砺市の主要な観光地でJR西日本の観光列車「べるもんた」の終着駅のある城端地区と井波地区を結ぶ「井波彫刻バス」を運行。井波を代表する観光地「井波別院 瑞泉寺」「井波彫刻総合会館」をはじめ、「城端曳山会館」「南砺市城端伝統芸能会館 じょうはな座」へのアクセスに便利。ガイド付きツアーや観光施設入場とセットのクーポンも販売されている。

運賃は、1乗車大人200円、小学生、障がい者100円。1日券大人410円、小学生・障がい者200円。

井波彫刻バス

南砺市城端伝統芸能会館 じょうはな座

伝統芸能の継承と現代文化の創造を通して、地域に賑わいを生み出す多目的ホール。毎月第2と第4土曜日に開催されている「庵唄」と「むぎや節」の定期公演では、城端曳山祭の華麗かつ荘厳な雰囲気や、城端むぎや祭の哀調を帯びた旋律に宿す凛とした風格ある舞いを体感できる。

じょうはな座

井波彫刻総合会館

井波別院瑞泉寺の伽藍配置をモデルにした館内には、欄間や獅子頭、天神様をはじめ、現代彫刻・工芸作品など、250年余の伝統を誇る井波彫刻の粋を集めた作品が約200点展示されている。荒彫りから仕上彫りまで200本以上の鑿・彫刻刀を使うという伝統の技法、秀作をじっくり鑑賞できる。

井波の町並み

道の駅井波 木彫りの里創遊館

毎週日曜限定の「くりえ～と工房」では誰もが気軽に楽しめる彫刻・クラフトなどの創作体験教室を開催。指導員のレクチャーもあり、初心者も安心かつ手軽に井波彫刻を体験できる。

能作　工場見学

能作　工場見学

富山観光のハブとしての役割を目指して、鋳物の能作が、地元高岡で「産業観光」をテーマにした施設をオープン。

製作現場を見学したり、鋳物を教わって作ったり、カフェでくつろいだり、富山の観光情報を仕入れられるなど様々な楽しみ方ができる施設。見学は外国語対応可能。

カフェはテイクアウト可能なメニューもある。

北陸の冬を観光列車で

2015年に登場した北陸の人気観光列車の「花嫁のれん」と、「べるもんた」（愛称：べるもんた）。予約の取りにくい人気観光列車ながら、旅行会社向けには、貸し切りが可能となっている。

観光列車「花嫁のれん」は、石川県内の七尾線（金沢駅～和倉温泉駅）を運転。車両のコンセプトは「和と美のおもてなし」。記念撮影や車内の装飾、アテンダントとの交流など終点まで、サービスを満喫できる。軽食やスイーツセットも利用者が多い。1号車は8つの半個室と物販スペースがあり、通路は日本庭園の飛び石をイメージした絨毯（じゅうたん）を敷いた。2号車は催し物を実施できるスペースを用意し、にぎやかに旅を楽しめる空間とした。和倉温泉駅発の同列車に「和軽食セット」（花嫁のれん2号）、「ほろよいセット」（花嫁のれん4号）を設定。「スイーツセット」を金沢駅発となる花嫁のれん1号と3号で設定。

観光列車「花嫁のれん」

列車内

観光列車「べるもんた」は富山県内の城端線・氷見線を土曜日は高岡駅～城端駅間、日曜日が新高岡駅～氷見駅間（4号は氷見駅～高岡駅間）で1日2往復で運転。日曜日の1から3号は城端線と氷見線を直通運転するため、珍しい構内移動を体験できる。車内では、食のサービスとして「ぷち富山湾鮨セット」や「ほろ酔いセット」等を提供。土曜日のべるもんたは井波彫刻バスに接続する。

観光列車「べるもんた」

列車内

冬の北陸に「美食」あり

首都圏で「冬の北陸・美食フェア」

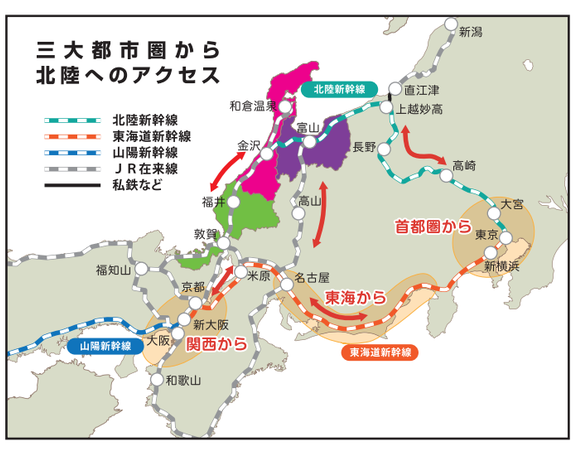
昨年に引き続いて冬の北陸美食フェアが2017年11月27日にホテルメトロポリタンエドモンド（東京都千代田区飯田橋）で開催された。旅行会社の担当者など150人が出席した。

北陸新幹線の開業3年目を迎えた北陸に、首都圏からの冬季の誘客拡大を図るのが目的。関西地区のように、北陸のズワイガニや寒ブリなどを目的とした旅行を首都圏でも定着させることを目標とした取り組みで、ズワイガニや寒ブリの旅行商品もラインナップされるようになった。

主催は、北陸三県誘客促進連携協議会（福井県、石川県、富山県など）、旅行会社6社からなる仕入センター北陸協議会。寒ブリやズワイガニなどのブランド食材の定義などを説明したほか、ブランド食材の試食、ブランドとなっている各県のズワイガニの食べ比べ、各種カニ料理が紹介された。

越前がに、加能ガニ、橋立ガニ、寒ブリなどのブランド食材と北陸の誇る日本酒の銘酒も揃った。

冬の北陸・美食フェアで紹介されたグルメ食材と日本酒



北陸新幹線W7系

北陸新幹線で冬の北陸へ
Japanese Beauty Hokuriku
キャンペーンの詳しい
内容、問い合わせ先は
北陸新幹線 検索 へどうぞ。
http://hokuriku-w7.com/

福井県

越前がにの釜揚げ見学

ズワイガニの王様とも呼ばれる福井県のブランドガニ「越前がに」が真っ赤にゆであがる様子を見学できる。大釜の中で、かご一杯に釜揚げされる様子は圧巻。予約をすればゆでたてのカニ料理も楽しめる。

開催日は2018年1月6日～1月28日の土日祝日の12時～12時30分。

開催場所は夕なぎ荘（福井県坂井市三国町東尋坊商店街）。入場は無料。食事は有料（要予約）。

かに定食

丸岡城下町食べ・見て歩き得札（クーポン）

福井県坂井市丸岡町には、現存天守では日本最古とも言われる「丸岡城」があり、一年を通じて多くの観光客が訪れる。冬場は雪景色も楽しめる。丸岡城近くの飲食店18店舗で使えるお得なクーポン。各加盟店でデザートやコーヒーなどと交換できる。食べ歩きや、土産購入に利用でき、主に一筆啓上茶屋と他参加店舗で購入できる。

丸岡城

丸岡城下をまち歩き

価格は1冊600円（クーポン5枚・丸岡城他3施設入場割引券付）。

販売期間は、2017年10月1日～2018年3月31日。

クーポンで交換できるスイーツ

限定利き酒セット

石川県

橋立漁港　カニガイド&限定利き酒セット

石川県が誇るズワイガニのブランド「加能ガニ」。大量の活ガニを目の前に、おいしさの秘密から、漁や選別に関するクイズに答えながら、4品が付く。料金はカニガイド&限定利き酒セットは2千円。カニガイドのみは無料。利き酒セットは1日限定20人で、前日までに予約が必要。

開催日は2018年3月31日まで（木曜を除く）。開催時刻は15時30分～16時30分「（利き酒含む）。開催場所はマルヤヤ水産（石川県加賀市田尻町浜山2―11）

金沢城もライトアップ

金沢城・兼六園四季物語　冬の段

雪吊りの美しい金沢城公園と兼六園でライトアップが行われる。金沢城公園内にある玉泉院丸庭園では、光と音により冬をイメージしたライトアップを実施。冬の澄んだ空気と、鏡のような水面の兼六園の霞ヶ池に、幻想的に浮かび上がる雪吊りされた「唐崎松」は、一見の価値がある。金沢城公園、玉泉院丸庭園、兼六園でそれぞれ繰り広げられる美しい光の世界が楽しめる。

開催日時は2018年2月2日～20日の17時30分～21時（入園は20時45分まで）。開催場所は金沢市金沢城公園、兼六園。

入園は無料。

輪島ふぐ

石川県輪島市は、天然ふぐ漁獲量5年連続日本一。この天然ふぐを輪島の観光資源として全国にアピールを始めた。

その第一弾は「輪島ふぐ」（真フグ）。輪島ふぐを取り扱う店舗には、統一ののぼり旗を掲げ訪れた人に「ふぐのまち」を感じてもらっている。

3千円（税抜）の統一料金でふぐコース料理が味わえるようにした。やぶ新橋店では「輪島ふぐ会席」3240円で提供している。（要予約）。

予約無しでも「輪島ふぐ炙り丼」1750円は注文できる。輪島塗りに盛り付けられた輪島ふぐ料理は見た目も特徴的。

輪島ふぐ料理（やぶ新橋店）